

令和8年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
令和8年3月23日(月曜日)

○日時 令和8年3月23日 午前10時36分開会

○場所 議場

○議件

1. 議案第26号 令和7年度網走市一般会計補正
予算

○出席委員(7名)

委員長	古田純也
副委員長	栗田政男
委員	金兵智則
	里見哲也
	永本浩子
	平賀貴幸
	古都宣裕

○欠席委員(0名)

○議長 松浦敏司

○傍聴議員(4名)

	石垣直樹
	井戸達也
	深津晴江
	村椿敏章

○説明者

副市長	後藤利博
健康福祉部長	結城慎二
子育て支援課長	岩本純一
子育て支援課参事	東出信幸

.....

教育長	木野村 寧
学校教育部長	高橋善彦
学校教育課長	里見達也

○事務局職員

事務局長	岩尾弘敏
次長	本橋洋樹
総務議事係長	和田亮
総務議事係	山口諒

○古田純也委員長 ただいまから、文教民生委員会を開催いたします。

本日の委員会では、付託されました議案1件について審査します。

それでは、まず初めに議案第26号令和7年度網走市一般会計補正予算中、繰越明許費補正、物価高対応子育て応援手当支給事業について説明を求めます。

○東出信幸子育て支援課参事 追加議案資料1ページ、資料14号を御覧願います。

補正予算の概要の2、繰越明許費の補正の1段目、物価高対応子育て応援手当支給事業につきまして、事業費8,311万8,000円のうち、110万円を翌年度に繰越しするものであります。

繰越しの理由といたしましては、現在、物価高対応子育て応援手当を支給しておりますが、支給に対する国からの通知に変更があり、年度内事業の完了が見込めないことから、事業費の一部を翌年度に繰越しするものであります。説明は以上でございます。

○古田純也委員長 それでは、質疑に入ります。

質疑ございませんか。

○金兵智則委員 今御説明をいただいたのですが、国からの変更の通知があったと。その変更の内容というのはどのような内容なのですか。

○東出信幸子育て支援課参事 当初、国からの通知では、出納閉鎖期間までに振込が完了したのについては、令和7年度分となっておりますが、2月28日付の変更された通知では、令和8年3月31日までに振込を完了させなければならないとされました。そのため、3月下旬に申請があり、4月以降に振込が完了するものについては、令和7年度分として取り扱うことはできないこととなるため、4月以降に振込が完了するものを令和8年度分として取り扱うため、繰越しするものとなります。

○古田純也委員長 他に。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

お諮りします。

議案第26号令和7年度網走市一般会計補正予算中、健康福祉部関係については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょう

午前10時36分開会

か。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そのように決定しました。

○古田純也委員長 次に、議案第26号中、小学校施設整備費、小学校特別教室冷房設備整備事業について、中学校施設整備費、中学校特別教室冷房設備整備事業について、一括して説明を求めます。なお、それぞれ繰越明許費補正も関連しておりますので、併せて説明を求めます。

○里見達也学校教育課長 追加議案資料の資料14号、2ページを御覧願います。令和7年度一般会計補正予算のうち、小学校施設整備費、小学校特別教室冷房設備整備事業の歳入歳出予算の補正と繰越明許費の設定について御説明申し上げます。

1の補正の理由及び内容でございますが、国の補正予算を活用し、全ての小学校の特別教室の一部に冷房設備を整備するため、必要な経費を追加補正するものであり、金額は、実施設計委託料447万3,000円と設置工事費1億2,802万7,000円の合計1億3,250万円となります。なお、年度内に事業の完了が見込めないため、事業費の全額を翌年度に繰越ししようとするものでございます。

2の補正額でございますが、事業費1億3,250万円の財源内訳につきましては、国庫補助金2,740万円、市債1億510万円となっております。歳入歳出予算における補正前の額、補正額、補正後の額につきましては、資料に記載のとおりでございます。

また、3の繰越明許費の内訳につきましては、事業費の全額を翌年度に繰り越すものでございます。本件につきましては、昨年12月に国の令和7年度補正予算において実施をされます学校施設環境改善交付金事業に対する事業要望を行っていたところでしたが、本年2月下旬に国から北海道を通じて、事業採択の内定通知があったことから、本年度の予算補正により実施しようとするものでございます。

冷房設備を設置する特別教室ですが、各小学校において複数ある音楽室や理科室などの特別教室のうち、特に利用頻度が多い3室について整備しようとするものでございます。

続きまして資料の3ページを御覧願いたいと思います。令和7年度一般会計補正予算のうち、中学校施設整備費、中学校特別教室冷房設備整備事業の歳入歳出予算の補正と繰越明許費の設定につきまして

併せて御説明申し上げます。

1の補正の理由及び内容につきましては、今し方御説明しました小学校と同様、国の補正予算を活用し、全ての中学校の特別教室の一部に冷房設備を整備するため、必要な経費を追加補正するものであります。金額につきましては、実施設計委託料268万5,000円、設置工事費7,951万5,000円の合計8,220万円となります。こちらにつきましても、年度内に事業の完了が見込めないため、事業費の全額を翌年度に繰越しするものでございます。

2の補正額でございますが、事業費8,220万円の内訳につきましては、国庫補助金1,510万円、市債6,710万円となっております。歳入歳出予算における補正前の額、補正額、補正額の補正後の額につきましては、資料に記載のとおりでございます。

中学校におきましても、先ほどの小学校の説明と同様、利用頻度が特に多い特別教室3室につきまして、整備をしようとするものでございます。また、繰越明許費の内訳につきましても記載のとおり全額を翌年度に繰り越そうとするものでございます。

説明は以上でございます。

○古田純也委員長 それでは、質疑に入ります。

質疑ございませんか。

○永本浩子委員 ただいまの御説明で特別教室の一部、利用頻度の多い3室ということで御説明がありましたけれども、具体的には、先ほど音楽室とかという話がありましたけれども、具体的に教えていただけますか。

○里見達也学校教育課長 この特別教室3室の設置の部屋でございますけれども、先ほど音楽室、理科室などという御説明しましたが、あくまで特別教室の例ということでございます。3室の設定につきましては、各学校においてどの部屋に優先的に設置をするかというのを設置の段階で協議をした上で設定をしたいと考えております。事前の想定の中では、授業で多数使われる音楽室、理科室などが想定をされますけれども、それ以外に例えば、図書室とか図工室、あるいは中学校でいけば美術室など、そういったところも考えられるかと思っておりますので、各学校に優先度合いというところで設定をしていきたいと考えております。

○永本浩子委員 ということは、まだ具体的な教室というのは決まっていなくて、部屋数だけ小・中学校3室ずつということになるかと思っておりますけれども、例えばその3室に漏れた部分というのは、今後

は冷房設備というのは考えていないということなの
でしょうか。

○里見達也学校教育課長 今回、実施をするという
ところでは、各学校3室ということで考えておりま
すので、今回、整備をしないところについては、今
のところ整備の予定は持ち合わせておりません。

○永本浩子委員 今のところ持ち合わせていないと
いうことですが、3室決まった段階でつけられ
なかったところの状況等もしっかり把握しながら、
本当につけなくても大丈夫なのかどうかという
ところも見ていただきたいと思います。そして、工
事ですが、日程的にはどういう感じになるの
でしょうか。

○里見達也学校教育課長 今回、予算の議決を頂き
ましたら、新年度からまず実施設計委託というこ
ろで実施をしてみたいと思います。実施設計を経
てから実際の発注工事ということになりますので、
これまで、普通教室等の整備をしてきたスケジュー
ル感でいきますと、やはりどうしても整備につい
ては、今年の夏には間に合わないかと思いますが、
年度内に設置を完了し、本格的には、令和9年度
からの稼働を考えているところでございます。

○永本浩子委員 了解いたしました。先ほどお願
いした点ですが、ほかの特別教室に関しても、
この後もしっかり見ていただくということによ
ろしかったですか。

○里見達也学校教育課長 実際にその教室の使い
具合であるとか、学校によっては教室の配置
によって日の入りで室温が違うということもあ
りますので、そういった状況を見ながら、様
子を見ていきたいと思っております。

○古田純也委員長 他に。

○金兵智則委員 明らかたわかったのですが、
3室ということは台数制限は特にないという
ことですね。広いところだったら2台、3台
つく可能性もあるということなのですか。

○里見達也学校教育課長 この事業費を算定
するに当たって、教室の面積によって必要
な台数というのを粗々出しているところで
ございます。特別教室は普通教室の大体
2部屋分ぐらいなのでありますが、面積上
でいきますと、大体1教室に対して2台
ぐらいは見込んでおまして、具体的には、
小学校の9校ございますが、想定をする
ところでは今のところ50台程度、中
学校では、5校を掛ける3室の15室
にかけて2台ということで30台程度
ということで計画

をしたところでございます。

○古田純也委員長 他に。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、お諮りします。

議案第26号令和7年度網走市一般会計補正予
算中、学校教育部関係については、全会
一致により原案可決すべきものとして決
定してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そのように決定いたしました。

それでは、これで文教民生委員会を終
了いたします。

午前10時49分閉会